

激変する国際情勢に対する 我が国の防衛力強化

《 第53回防衛問題セミナー開催概要 》

令和6年8月23日（金）、第53回防衛問題セミナーをさいたま新都心合同庁舎1号館（埼玉県さいたま市）で開催しました。当日は約160名の方々が来場されました。

昨今の国際社会はグローバルなパワーバランスが大きく変化し、政治・経済・軍事などにわたる国家間の競争が顕在化、また、ロシアによるウクライナ侵略のような力による一方的な現状変更やその試みが行われ、さらには、サイバー攻撃や気候変動など、安全保障上の様々な課題が認められるといった新たな危機の時代に突入しつつあります。

こうした安全保障環境と課題は、わが国が位置するインド太平洋地域で際立っており、将来的にさらにその深刻さが増す可能性を考えると、わが国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑な状況に直面しているところです。

本セミナーは、こうした状況に対峙していくため、わが国の防衛力強化の必要性や新たな防衛力の方向性等に係る防衛省・自衛隊の政策・取り組みについて国民の皆様にご認識していただくことを目的に開催しました。

第1部では、「ロシア・ウクライナ戦争が日本の安全保障に与える影響」について、防衛省 防衛研究所 研究幹事 兵頭 慎治様よりご講演いただき、第2部では、「ロシアのウクライナ侵攻に思うこと」について、元陸上幕僚長 湯浅 悟郎様よりご講演いただきました。

聴講者からは、「ウクライナ戦争の現実をよく理解できた。」、「ロシア・ウクライナ戦争は日本に関係ない話だと思ってたが、他人事ではないと実感した。」、「国防意識向上と法律整備の重要性が理解できた。」、「抑止のための力が必要だと再認識できた。」など、多くの感想が寄せられました。

この他、同会場内のホワイエにおいて、ロシアによるウクライナ侵略などに関する資料のパネル展示を行いました。

本セミナーの開催にあたり、自衛隊埼玉地方協力本部からご協力をいただきました。



北関東防衛局 森局長挨拶



パネル展示



兵頭講師による講演



湯浅講師による講演

